

代表質問 (3)、用語の解説、議会 NEWS (2)

西東京市議会公明党

市長は職員との信頼を構築し

19万市民のリーダーとして

知勇兼備の指揮を執れ!

佐藤 公男
大 林 光 昭
藤 田 美 智 子
小 幡 勝 己
佐々木 順 一

職員との信頼関係構築を!
質問 市長が就任して3カ月がたった。職員とどのように信頼関係を構築してきたのか。

市長 限られた時間で、出先機関等の現場に足を運びコミュニケーションを図ってきた。今後も職員と積極的に対話し、一体となって課題に取り組み市政運営を目指していきたい。

市財政と予算の執行管理

質問 歳入確保は行革の大テーマ。取り組みを問う。

市長 滞納整理の強化、休日・夜間の相談窓口、マルチペイメントの実施など成果を上げている。市有財産の積極的処分・活用を図り、第4次行革においても適切に位置づけていく。

質問 厳しい財政状況の中、取り崩した基金を回復するため、過度な執行管理による影響は出ないのか。

市長 予算の適切かつ効率的な執行に努めることで、最大限の効果を発揮し、基金残高の回復に努める。

総合計画の策定について

質問 今後10年の方針を決定する第2次総合計画の策定のポイントと、総合計画条例において基本構想を議決範囲に定めた理由を伺う。

市長 地域の力を最大限活用するため、現行の「協働で拓くまちづくり」を、「みんなのできるまちづくり」

り」と、より幅広い概念で捉え直した。議決の範囲については、自治法改正後も、議会の議決を経て基本構想を策定すべきと考えた。

意見

議会の議決を経るのであれば、議会の責任においてその範囲を決めるべき施政方針について

質問

「丸山カラー」をどのように打ち出したのか。

市長 子宮頸がん検診受診率向上モデル事業、健康指導員・健康応援団の仕組みづくり、プレミアム商品券事業実施、スマート保育施設開設準備、小学校2校、中学校1校で特別支援固定学級開設準備等である。

介護ボランティアポイント

質問 世田谷区のように元気な高齢者が介護ボランティアを行うごとに1回50円相当のポイントがもらえ、年間6千円の介護保険料負担軽減資金を受けられるようにすべきではないか。これにより、活動に参加した多くの高齢者が生きがいを実感している。少ない費用で効果は大きい。

市長

先進市の成功事例の検証に努めたい。

障がい者支援について

質問 就労支援とあわせて日常生活訓練を充実させるべき。また、住環境確保のため、地域との合意形成を担うコーディネーターの配



障害者総合支援センター「フレンドリー」

置なども検討すべき。

市長 障害者総合支援センター「フレンドリー」の利用者懇談会等の意見を踏まえ、さらなる有効活用を検討する。

健康応援団・がん対策

質問 平均寿命と健康寿命には10年の開きがある。市民の健康を守る上での課題や具体的取り組み、健康データの活用について問う。

市長

生活習慣がよくないと考える20代から40代の市民が増えている。健康応援団の創設、地域の団体との連携、健康への意識啓発、環境整備に努めていく。統計分析データを活用し受診行動の動機づけにつなげるといった活用を考えている。

質問

三多摩26市の中で、がん検診等トップクラスの受診率向上を目指せ。

市長

子宮頸がん検診でモデル事業を実施し、5つのがん検診に反映させる。

買い物弱者の自治体支援

質問 交通弱者・買い物弱者・見守り支援等、超高齢社会の自治体支援のあり方

について問う。

市長 宅配サービス、移動販売、お店への移動手段の提供、店舗立地が考えられる。ニーズ調査を行い、まちづくりの視点で、互助・互助を含め本市の実情に合った応援方法を検討したい。

市民会館・こもれびホール

質問 本市における市民会館の位置づけと、新指定管理者となったこもれびホールの今後の課題を問う。

市長 市民会館については、存続すべき施設機能を整理し、一定の方向性を示す。生活文化スポーツ部長

こもれびホールは指定管理者と課題を共有し検討を重ねているので、引き続き協議をしていく。

もれびホールは指定管理者と課題を共有し検討を重ねているので、引き続き協議をしていく。

生活文化スポーツ部長

こもれびホールは指定管理者と課題を共有し検討を重ねているので、引き続き協議をしていく。



保谷こもれびホール

防災対策について

質問 地域防災計画の主な見直し内容と、公明党の推進で導入するスタンバイパイプによる応急給水体制の現状を伺う。また、以前から提案していたスマホのアプリを活用した防災マップ作成の検討状況はどうか。

市長

組織体制の変更、わかりやすい名称への変更、帰宅困難者対策、職員の非常配備態勢基準の見直し、女性に配慮した避難所運営、国・都と連携した医療体制の整備等を見直した。

危機管理室長

スタンドパイプは本年度中に都から7セット貸与される。次年度以降も強く貸与を求めている。

く。スマホアプリによる防災マップについては、防災ガイド&マップの改訂に合わせて検討していきたい。

質問 避難所となる学校の天井や壁、ガラス等の非構造部材の耐震化の改修により安全は確保されるのか。

教育長職務代理人

本年度非構造部材の調査点検を専門業者により実施する。調査結果により対策に努める。

庁舎統合について

質問 本庁舎統合に向けた今後のスケジュールと、官民連携による事業手法による検討について問う。

市長

本市の面積を考えると1庁舎が妥当と考える。市民説明会後、市民参加の手法を経て、平成25年度内に統合方針を示したい。事業手法については実現可能で優位性の高い手法を今後検討する。

はなバスについて

質問 料金改定に関して、公明党が提案してきた高齢者への配慮を評価する。今後は、第4ルートを西武新宿線の南北で分けるなどルートも見直すべき。

市長

乗車人数等の調査結果を参考に、第4ルートの再編も含め検討していく。

ひばりヶ丘駅南口について

質問 駅利用者から歩きづらいとの意見もある、ひばりヶ丘駅南口整備の進捗状況は。また、狭い交番の改善を検討せよ。

市長

平成24年度はバリアフリー化に向け交通量調査を行った。平成25年度は交通管理者、道路管理者、交通事業者と協議し、基本設計を、平成26年度には実施設計を行いたい。交番の移設については、今後の検討課題としていく。

市議会で採択された請願・陳情については、市長や教育委員会に送付され、その後の検討経過を議会に報告することとなっています。ここでは平成24年中に趣旨採択された2つの陳情の検討結果をお知らせします。

議会 NEWS

採択された陳情のその後

件名	採択年月	陳情事項	検討結果	理由
「おおぞら公園」の整備に関する陳情	平成 24 年 6 月 18 日趣旨採択	公園内の記念碑周辺にある角張った積み石に対して、危険防止対策等を求めるもの。	「おおぞら公園」の整備については、開園以来市民の皆様にご利用しやすい公園となるように維持管理に努めており、既に角張った積石の安全対策や遊具の安全点検を行いました。今後についても、寄附者及び近隣住民の意向を重視し、安全対策等について、可能な範囲で対応してまいります。	寄附者及び近隣住民の意向を重視し、市民の皆様親しまれる安全で安心な公園の維持管理を図っていきたいと考えております。
給食食材の安全・安心の確保を求める陳情	平成 24 年 9 月 21 日趣旨採択	給食食材放射性物質検査について、調理前食材の検査、産地等の公表を求めるもの。	消費者庁貸与による検査機器を活用し、検査を行ってまいります。検査に当たっては、国・都などの動向に注視してまいります。	食品衛生法の規定に基づく食品中の放射性物質に関する新たな基準値が平成 24 年 4 月 1 日より施行されております。現在、この基準値に基づいて定期的に検査を行っております。

用語の解説

***スマート保育**
空き家、空き店舗、空き公共施設等を活用し、区市町村が独自に実施する定員6人以上19人以下の小規模保育のこと。東京都が待機児童解消のため積極的に推進している。

***レスパイト**
本来は「一時休止」「休息」という意味。在宅介護などで介護者が疲れ切ってしまうことを防ぐために、要介護者を短期入院させたり、既に介護者が疲労の限界を超えている場合などに病院や施設に一時的に移すこと。介護者と要介護者の共倒れや、要介護者への虐待予防につながると思われる。